

東松島市

復興まちづくり推進員だより



一般社団法人 東北圏地域づくりコンソーシアム

私たち復興まちづくり推進員が、東松島市で行っている活動を、市内外の皆様に幅広く知って頂き、共に歩いていくために、『東松島市復興まちづくり推進員だより』を毎月発行しています。

赤井まちづくり day

～オラが古里赤井はひとつ～

2月18日(火)赤井市民センターにおいて開催され、夜の部の「楽しく集って 未来を創ろう」にファシリテーターとして参加しました。

はじめに、宮城大学事業構想学部助教であり、当法人の理事でもある鈴木孝男氏より『楽しく集まって、未来を創ろう！「オラが古里赤井はひとつ」』をテーマに講話がありました。今地域で起こっている問題（人口減少、高齢化、買い物難民、医療費の増加など）をあげられ、ほかの地域で行われている交流拠点づくりの取り組みを紹介されました。また、『歩いて行ける範囲で快適に生活できる地域』が住みよいまちづくりへ繋がる事例もあげられ、「赤井の現状と課題（ニーズ）を考え話し合う場・解決にむけての意見と行動には、幅広い世代の住民の参加が必要であり、自分を社会に開放することが地域づくりになる」とのことでした。



講話の後、参加者を2つのグループに分けてワークショップを行いました。『赤井地区の「元気にする活動」を考える』を柱に11の要素に分けて赤井が抱える課題を出し、それを基に自分たちが出来る活動と期待できる効果の発表がされました。



発表された活動の1つに「あいさつ運動」がありました。小中学生がしている活動（2の日は挨拶、5の日はゴミ拾いなど）を大人も実践することで、みんな笑顔になり、普段から声を掛けあうことで親近感を持つことが出来る、災害公営住宅の方も入られるので、地域住民同士のコミュニケーションが取りやすくなる、地域全体が活性化するというものです。5の日はゴミ拾いなので、環境美化にもなるので、効果が大きいと思われます。世代を超え、互いを知ることで、してほしいこと、知りたいことを教えてもらうなどの交流ができ、新たな地域の課題もみえてくるでしょう。

まちづくりの活動や交流の場づくりに、私たち推進員もお手伝いします。



■ 2月の活動

●赤井柳北区ままサロン

柳北区自治会と行政区が共催の第1回ままサロンに、運営と託児のお手伝いをしました。

参加者から「同じ地区に住んで居ても初めて会った人ばかり。子ども同士・親同士が交流できる場ができた。」と喜びの声が。区長さんは、

「将来は世代を超えた交流ができるサロンにしたい」と目標を話してくださいました。

これからの活動に期待しています。



●矢本西地区まちづくり整備協議会懇談会

区画決定後初めて、近隣者同士の顔合わせや情報交換の場として開催し、私たちも進行役として参加しました。家族で懇談会に参加された世帯も多く見られ、お互いの家族や連絡先、建築時期や境界のことなど、約15世帯を1グループにして分かれ、1時間ほど話し合われました。

懇談会終了後、造成中の現地見学会が行われました。土地の引渡しは今年6月の予定です。



おじゃま
しました

●ひびきほっとサロン

ひびき工業団地内仮設集会所で、毎月1回お楽しみ&昼食会が、仮設に住んで居るお母さん達9名の手で開催されていると聞き伺いました。参加者から昼食代を頂いて自主運営しています。この日は「サンサンサン」の皆さんによる人形劇や軽体操が行われました。

「参加していただくことで、孤独にならないで居られるように、毎月開催している」と代表の奥田さんから伺いました。笑い合い身体を動かすことで健康維持と見守りができるのとても良いことと思います。また、4月から災害公営住宅に移転してもこのサロンに来たいと話された方もおられました。新しいまちへの要望や生活での困りごと等のお話は、これからのまちづくりにもつながっていきます。

時々お邪魔してお話を伺いたいと思っています。



この他、お茶会支援、子育て支援、各まちづくり協議会の会議へ参加、懇談会等行っております。ブログに最新の活動を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

<http://hmms0311fm.da-te.jp/>

東松島 復興まちづくり推進員

検索



～復興まちづくり推進員事務所のご紹介～

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

東松島市復興まちづくり推進員

事務所：東松島市蔵しっくパーク内（テレワーク3）

東松島市矢本字北浦 25 番地

電話：0225-90-3571 FAX:0225-83-8577



※当法人は東松島市復興まちづくり支援業務を東松島市より受託しております。